

各位

2019年4月16日

会社名 テクノプロ・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 兼 CEO 西尾 保示
(コード番号:6028 東証一部)

テクノプロ・コンストラクションが A.L.I.Technologies と業務提携を開始 ～AI 技術を活用したドローンソリューションサービスを共同展開～

当社の連結子会社である株式会社テクノプロ・コンストラクション(本社:東京都港区、代表取締役社長:関和 達也、以下「テクノプロ・コンストラクション」)は、株式会社 A.L.I.Technologies(本社:東京都港区、代表取締役:小松 周平、片野 大輔、以下「A.L.I.」)と、ドローンソリューションサービスの共同展開に関する業務提携契約を締結しましたので下記の通りお知らせいたします。

1. 業務提携の背景

現在、建設業界においては、IoT や AI、ビッグデータなどの次世代技術の活用、スマートデバイスの普及、ロボット技術の導入など、i-Construction をキーワードとした技術革新と働き方の改革が急速に進展していますが、その i-Construction が浸透していく上で、ドローン技術のさらなる進化が求められています。また、日本の高度成長期後半以降に建造された建築物やインフラの多くは老朽化しており、これらを効率的に点検・検査・補強工事するためのソリューションが必要な状況にあります。

このような現状を背景に、建築・土木の分野で日本を代表する多くの企業を技術面からサポートしてきたテクノプロ・コンストラクションと、建設業界におけるドローン活用推進を牽引する A.L.I.が提携することにより、機動力と専門性を担保した包括的なドローンソリューションの開発ならびにサービス提供が可能であると判断し、今回の業務提携に至りました。

2. 提供サービスについて

今般の業務提携を通じて A.L.I.が提供する AI 技術を活用した完全自律飛行型ドローンによる点検・検査ソリューションプラットフォーム「SMARK(スマーク)」と当社のクラウド測量統合プラットフォームのデータを連携し、多種多様な建設現場で培ったテクノプロ・コンストラクションの豊富なノウハウを融合することで、これまで以上に高精度で費用対効果の高いソリューションを提供します。

今後は、テクノプロ・コンストラクションと A.L.I.によるドローン関連ソリューションの提供を通して、日本のみならず世界で課題となっているインフラ老朽化への対応促進、および新規の建設現場における事前調査等の効率化による工期短縮、品質・安全性の確保を目指します。

【A.L.I.について】

世界発の実用型ホバーバイクの販売を 2020 年に目指すエアーモビリティ事業、ブロックチェーン技術を活用し演算力を貸し出すクラウドサービス事業、ドローン関連ソリューション開発事業、技術コンサルティング事業を展開しています。

<https://ali.jp>

【テクノプロ・コンストラクションについて】

テクノプロ・コンストラクションは、国内約130の拠点に18,000名を超える技術者・研究者を擁する日本最大の技術系人材サービスグループであるテクノプロ・グループの中核企業の1社です。全国約460のお客様に対し、テクノプロ・コンストラクションの技術者2,400名以上が施工管理や設計などの技術サービスを提供しています。

<https://www.technopro-construction.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

テクノプロ・ホールディングス株式会社 広報 IR 部 宮川、小林
Email: cir@technopro.com